

2025年業務実績報告書

提出日 2026年 1月 23日

1. 職名・氏名 教授・杉山泰之

2. 学位 博士（経済学）、専門分野 国際経済学、授与機関 大阪大学、授与年 2008年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 国際経済学 A（2 単位、2 年生） *07 年度以前入学生の「貿易論」にあたる。
② 内容・ねらい （Ⅰ）貿易が起こる理由と一国の輸出入のパターン、（Ⅱ）貿易がもたらす利益とその源泉、（Ⅲ）貿易政策の効果等について基礎的な理論を学ぶとともに、国際貿易体制や貿易取引の現状を把握し、現実の貿易に関する諸問題を見る目を養うことが目標である。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 通常の講義を行った。入門的な教科書レベルのオリジナル資料を毎回配布し、その資料内容について解説した後、内容に関するクイズを行うことで、学生がどの程度内容を理解しているかを確認しつつ、講義を展開していった。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 国際経済学 B（2 単位、2 年生） *07 年度以前入学生の「国際金融論」にあたる。
② 内容・ねらい （Ⅰ）為替レートの決定とその要因、（Ⅱ）為替レートの変化と貿易収支の調整、（Ⅲ）為替介入や開放経済下における財政・金融政策の効果等について基礎的な理論を学ぶとともに、国際通貨制度や国際金融取引のしくみを把握し、現実の国際金融に関する諸問題を見る目を養うことが目標である。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 通常の講義を行った。入門的な教科書レベルのオリジナル資料を毎回配布し、その資料内容について解説した後、内容に関するクイズを行うことで、学生がどの程度内容を理解しているかを確認しつつ、講義を展開していった。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 外書購読 I（2 単位、2 年生）
② 内容・ねらい 英語で書かれた国際経済学（特に貿易論）の文献講読を通じて、以下の3つの力を養うことを目標としている。（Ⅰ）英語の文献や資料を読解し、要旨を的確に把握する力を養う。（Ⅱ）国際経済学に関する専門用語を日本語だけでなく英語でも押さえる。（Ⅲ）自由貿易のメリットとデメリットについて理解する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 今年度については、国際貿易の理論のうち、特に労働生産性の違いに基づく比較優位や企業レベルの規模の経済との関係で貿易パターンを解説しているテキストレベルの英語の文献を輪読した。毎回、3～5人のグループごとに担当個所を割り当て、グループごとにお互いの訳をすり合わせてから報告し合う形で進めていった。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習 I（4 単位、3 年生）
② 内容・ねらい 国際経済学の理論的な知識を修得すること、世界経済の状況や貿易・国際金融システムとそ

の機能を把握すること、このゼミを通じて自分の意見をまとめ、しっかりと伝えられるようになることが目標である。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 演習Ⅰでは、前期に国際経済の基礎理論や（学内の合同ゼミで）データ分析の方法を学び、後期に国際経済に関するテーマについて2つのグループに分かれて調査・研究を行った。今年度については、デジタル貿易の赤字や戦争の国際経済への影響などについて調べた。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 演習Ⅱ（4単位、4年生）	
② 内容・ねらい 演習Ⅰでとり上げた内容から一歩進んだレベルの国際経済学の理論を修得すること、国際経済の諸問題についてそれらの理論を用いて一考察を加えること、ゼミを通じてその内容をまとめ、報告することなどが目標である。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 2025年度も卒業論文の提出につなげていけるように演習Ⅱを進めた。各自が興味に応じて課題を設定し、関連する文献や記事を調べ少しずつ文章にしていっていった。毎回進捗状況を報告することで、それぞれの研究課題について理解を深められるように配慮した。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 国際経済特論（2単位、博士前期課程1～2年生）	
② 本講義では、国際経済学（国際貿易論・国際金融論）の理論的な分析手法を学んでいく。これらの理論的な考え方に基づいて、新聞等の国際経済欄の情報を一定程度理解できるようになること、そして、その情報に対して理論的な視点に基づいて専門的な見解をまとめられるようになることが目標である。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 通常の講義を行った。国際貿易論、国際金融論の標準的な理論の解説が中心である。また、国際収支統計等を用いて国際経済取引の現状についても確認する。なお、講義では毎回こちらで基礎レベルのオリジナル資料を準備し、この資料に沿って講義を進めていった。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 専攻演習2（4単位、博士前期課程1～2年生）	
② 内容・ねらい 本演習では、国際経済学（特に国際貿易論）の分野における専攻研究を調査するとともに、この分野の理論的な分析手法を修得し、これらの理論的な分析手法を用いて、国際経済に関する諸課題を分析し、修士論文の作成につなげていくことが目標である。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 専攻演習の履修者の問題意識に合わせて国際貿易論に関する論文や書籍を読み、そのテーマに関する先行研究を整理するとともに、理論的な分析手法を参考に、修士論文においてどのように新たな知見を加えることができるのかを検討していくことに主眼をおいている。	
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 国際経済特別演習（2単位、博士後期課程1～2年生）	
② 内容・ねらい 本演習では、国際経済学（特に国際貿易論）の分野における専攻研究を調査するとともに、この分野の理論的な分析手法を修得し、これらの理論的な分析手法を用いて、国際経済に関する諸課題を分析し、学術論文を作成し、公表すること。そして、博士論文の作成につなげていくことが目標である。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 特別演習の履修者の問題意識に合わせて国際貿易論に関する論文や書籍を読み、そのテーマに関する先行研究を整理するとともに、いかに独自の視点を加えて、新たな知見導き、学術論文として公表していくかを目標にしている。	

(2)その他の教育活動
・探求学習アドバイザー（大野高校、2025 年 11 月 18 日） ・コメンテーター（日本政策学生会議（ISFJ）政策フォーラム 1 日目、労働雇用④分科会、2025 年 12 月 13 日）

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
① 著書
② 論文（査読あり）
③ 論文（査読なし）
④ 学会報告等
⑤ その他の公表実績： ・ Nishiyama, Hiroyuki, Gintani, Yasuhiro, and Sugiyama, Yasuyuki, “Global Supply Chain Asymmetries and the Effectiveness of Environmental Regulations,” (Social Science Research Network (SSRN) にて公開、https://ssrn.com/abstract=6056561、2026 年 1 月 11 日) 【1 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】科研費 ・ 基盤 (C) (2022 年度～2024 年度)「国際寡占下の環境産業と環境財の貿易、直接投資に関する理論分析」(22K01439)、研究代表者. *2025 年度まで延長 ・ 基盤 (C) (2025 年度～2027 年度)「グローバル・バリューチェーンのグリーン化に向けた企業の排出削減技術の選択について」(25K05058)、研究代表者.
(3)特許等取得
(4)学会活動等
・ 研究会報告「Technological Progress in the Transport Sector and Optimal Tariffs in Vertically Related Markets」(International Economics Workshop by the NIESG (名古屋国際経済研究会) and the JSPS KAKENHI #24H00014、タイ・ラーヨン、2025 年 9 月 26 日) ・ 地域公共政策学会 理事長 2023 年 11 月～現在に至る *所属学会：日本経済学会 (JEA)、日本国際経済学会 (JIES)、American Economic Association (AEA)、International Economics and Finance Society (IEFS) Japan、Western Economic Association International (WEAI)

5. 地域・社会貢献活動

①-3 委員就任（市町村）
・ 永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 副委員長、2021 年 10 月～現在に至る ・ 永平寺町企業版ふるさと納税活用支援事業認定審査委員会 委員長、2025 年 12 月 25 日 ・ 勝山市上下水道料金制度審議会 委員長、2025 年 5 月 27 日～現在に至る
①-4 委員就任（その他公益法人等）

・北陸 AJEC（北陸経済連合会）企画部会 委員、2022 年 10 月～2023 年 9 月
⑥ 公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講
・高校生向け講義「国際経済学入門～経済活動のグローバル化について考えてみよう～」(NPO 法人ふくい School of Liberal Arts「第 6 回高校生のための社会科学入門」、2025 年 9 月 20 日) ・短期ビジネス講座「ゲームの理論で考える国際経済」(2025 年 11 月 8 日)
⑦ その他（テレビ出演）
・福井テレビ news イット！（トランプ関税についてコメント、2025 年 4 月 7 日、7 月 24 日） ・福井テレビ タイムリー福井（「影響は？トランプ関税」）、2025 年 4 月 13 日）

6. 大学の管理・運営

(1)補職
・経済学部長兼経済・経営学研究科長 2023 年 4 月～2025 年 3 月（任期 2 年） ・経済・経営学研究科 地域国際経済政策専攻長 2025 年 4 月～現在に至る
(2)委員会・チーム活動
・大学院委員会リポジトリ部会 2025 年度 ・経済学部予算委員会委員
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など
【その他の活動（代理参加）】 ・2025 日台大学学長フォーラム（熊本大学、2025 年 7 月 16 日）